

東日本大震災

問い合わせ
東日本大震災支援
プロジェクト
(☎内線1222)

被災地への職員派遣（多賀城市・女川町）

5月20日から、おおよそ一週間交代で、宮城県多賀城市および女川町へ被災地支援職員派遣を行っています。多賀城市、女川町は津波で甚大な被害を被っており、いまだ多くの人が避難生活を送っています。職員は、被災先の職員とともに相談窓口に入り、生活再建支援金や義援金の申請受付、仮設住宅申し込みなど、震災支援業務を行っています。被災者の声を直接耳にし、被災の状況や、避難者生活の苦労を垣間見ると、貴重な経験となっています。

市民が参加「富岡市くらしの会」による支援

5月26日に、富岡市くらしの会により、宮城県多賀城市の避難所3カ所、約千人に春野菜の漬物・ふきの葉の佃煮を持参して、炊き出し支援を行いました。避難所での配食は、おにぎり・パンなどで、特に野菜類が不足しており、栄養状態もじゅうぶんといえませんが、復興への願いを込めて作った漬物物を、避難者一人ひとりに届けることができました。



くらしの会による支援

避難生活を励ます「交流会」の開催

知人・支援者を頼り、約40人の被災者が、市内で避難生活を送っています。市では避難者とコミュニケーションを図りつつ、身近な生活での困りごと相談や、市の保健師による個別訪問を行い、避難生活がより充実するよう努めています。

6月18日に、ボランティアグループ「うどんの会」が、避難者を招き、交流会を開催しました。参加した避難者は、ボランティアグループのフラダンスやレクリエーションを楽しんだ後、食事を取りながら、同じ避難者同士、情報交換を行いました。郷里の話題などで、終始リラックスムードで交流会を楽しみました。



うどんの会による交流会

避難者情報をお寄せください

各地で避難している避難者の安否確認、避難元（従前お住まいの）自治体から避難者への見舞金などの給付、生活支援関係の連絡などを行うため、市では市内に避難している被災者の情報を集めています。該当する被災者がいる場合は、東日本大震災支援プロジェクトに連絡をお願いします。

かぶら健康センター「かのさと」を閉館

現在、休館している「かのさと」は、9月末まで休館を継続し、10月1日から閉館します。平成10年5月に市民の心身の健康と福祉の増進を目的とし開館した「かのさと」は、運営改善を行ってまいりましたが、利用者数の伸び悩みなどにより大幅な赤字を重ねてきました。そして、昨年の富岡市版事業仕分けでは「不要」の判定を受けていました。閉館後の施設の利用については、今後、検討を進めます。

前売券を払い戻します

閉館にあたり、すでに購入いただいている前売り入館券（プリペイドカード含む）および送迎バス回数券の払い戻しを行います。なお、優待券およびポイントカードについては払い戻しの対象となりませんが、市

内入浴施設の妙義ふれあいプラザ「もみじの湯」およびコミュニティーセンター上高尾で利用できます（各施設において条件あり）。利用者の皆さんには、たいへんご迷惑とお手数をおかけしますが、ご理解をお願いします。

前売券の払い戻し

日時 平成23年7月1日（金）～平成24年3月30日（金）
午前8時30分～午後5時（土・日曜日、祝日、年末年始を除く）

場所 保健センター（富岡1347-1）

方法 入館券および送迎バス回数券と印章をご持参の上、窓口にお越しください。その場で現金で払い戻します。

問い合わせ 保健センター（☎64-1901）

事業名	仕分け結果	検討方向	今後の方針
駐車場管理運営事業	【仕分け人】 民間 【市民判定人】 民間	民間	駐車場整備の経緯の中での諸問題（借地・機器類の契約・国庫補助金など）があるため、当面は市で管理運営を継続していかねばならないと思われます。今後、これらの問題をクリアできる目途が立ち、受け皿となる民間組織があれば、管理運営事業の移行、譲渡、指定管理などを検討していくことも可能であると思われます。 料金については、今より高額でもよいとの意見でしたが、現在の料金体系に至る過去の経緯もあるため、他部署や地元商店街などとも協議を行いながら市、商店街、来街者などの相互にメリットが生じるようなシステムを検討し、料金体系の在り方についても議論していきます。
社会教育館管理事業	【仕分け人】 一部見直し 【市民判定人】 一部見直し	一部見直し	これ以上の経費削減や改善などの見直しは見込めず、抜本的に事業を見直さなければならぬと考えています。 そのため、講座・教室の開設は地区公民館に委ね、当面の間、貸館のみの利用と見学施設としての利用とし、生涯学習課としての管理でなく、市として企画担当部局の管理下において県と協議を行い、社会教育施設に限定された利用方法だけでなく、他の利用方法が可能か否かを導き出し、市行政での検討および市民を含めた利用検討会議を経て今後の施設の使用方法について時間をかけて検討していきます。
かぶら健康センターかのさと（管理運営事業）及び送迎バス運行事業	【仕分け人】 不要 【市民判定人】 不要	見直し	今後さらに施設が老朽化し、現在でも1日開館することで約20万円の赤字となり、さらに累積赤字が増え続けています。また、改修に莫大な費用が必要となります。 平成23年度中の早期に方向性を決定したいと考えています。 ※平成23年度の対応は、次のページの下段をご覧ください。
美術博物館管理運営事業	【仕分け人】 民活導入 【市民判定人】 一部見直し	一部見直し	今後の運営については、市民に親しみのある企画や、富岡製糸場との連携など企画展の充実を図り、入館者増を図ります。
空き店舗対策支援事業補助事業	【仕分け人】 不要 【市民判定人】 不要	見直し	富岡製糸場の世界遺産登録を見据えたまちづくりを推進する上で、商店街の活性化は不可欠な要素であり、今この重要な時期・重要な場所に予算を投入し、空き店舗の解消に努めていく必要があります。 支援の手法は検討する必要がありますが、補助金としての支援策は即効性があり、今後も継続すべき事業と考えます。
中高瀬観音山遺跡保存整備事業	【仕分け人】 縮小 【市民判定人】 縮小	見直し	事業認可期間が平成25年度までであり、用地買収および整備を完了することは困難です。今後は、計画全体の見直しを進めるとともに、取得済みの史跡部分を中心とした整備活用方法と、ランニングコストを含めた整備費の縮減に向けた再検討を行います。
社会福祉協議会補助金	【仕分け人】 不要 【市民判定人】 一部見直し	見直し	補助金については、事業ごとに間接費（事務費・人件費）を加味し用途を明確化するとともに、経費の削減に努めます。 また、「社協だより」の発行に加え、新たにホームページを開設し、市民への情報公開・開示を推進します。
富岡製糸場解説業務	【仕分け人】 民間 【市民判定人】 一部見直し	一部見直し	富岡製糸場各施設の本格的な修理や整備が終了後、内部を公開していく予定です。公開箇所の拡大や、有料解説などの検討を行っていきます。